

平成26年度事業報告に関する件

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

全 体 概 要

I 概 要

平成26年度は、新たに琳派400年記念祭委員会の事務局を担当し、広報活動や交流会等の開催に努め、また新規事業として、インバウンド分野で免税店への支援の取組などをスタートさせた。

加えて、平成24年度から、従前の仕事の進め方の見直しをはじめとして、業務内容全般の総点検や改善に力を入れてきており、3年が経過し、多くの分野で一定の成果を挙げることができた。

まず、コンベンションの誘致である。一般的に国際会議は数年先の案件を誘致するのが基本であり、3年前に体制を一新し、積極的に大学等への訪問を行い、きめ細かくサービス内容を周知するなど、活発に取り組んできた結果、平成26年の年間開催件数は過去最高に上った。

また、当法人の賛助会員数は、法人発足当初の平成20年度末から徐々に減少し、平成23年度末には244会員、356口まで下がったが、その後、平成24年度から広報戦略と業務改善を行うプレゼンスアップに取り組み、平成26年度末現在で過去最高の会員数となった。3年前と比較して、93会員、206口の増となり、協賛金収入としては年間約1,000万円の増収となっている。

一方、国際観光では、京都の免税店数について、ここ1年で約4倍にまで拡大し、我が国を訪れる外国人観光客についても、日本政府観光局の調べにより、平成26年は過去最高の1,300万人に上り、国が目標とする東京オリンピック開催時である2020年における2,000万人達成も、現実のものになりつつある。

こうした中、京都は、成田・羽田イン、東京、富士山、関空アウトという、いわゆるゴールデンルート上にあるが、地方の動きも極めて活発であり、より一層の取組強化が必要となってきている。加えて、外国人観光客の受け入れ環境づくりの改善、同時に観光客自身のマナーの向上にも取り組んでいかなければならない。

また、文化分野では、平成26年6月に琳派400年記念祭委員会を立ち上げ、精力的に取り組んできた結果、記念祭について当初想定以上の広がりを見せてきている。直近の例では、GWに東京日本橋の百貨店で開催された琳派展、同時開催の琳派をテーマとする京都展ともに、大変好評であり、工芸品を含め、物産販売実績も当初予想を超えたところである。

以下は平成26年度の重点施策別の取組状況である。

Ⅱ 5つの重点施策の推進

1 プレゼンスアップの推進

平成26年度でプレゼンスアップの取組も、丸3年が経過し、大きな成果を生み出してきた。

メディアへの露出では、数年前まで、当法人の名称を新聞紙上等に掲載される機会は少なく、年に1、2回程度であったが、平成26年度では年間約50回を超えるまでに増加しており、京都の公益法人としては最も高いレベルに達したといえる。

また、こうした状況は賛助会員の増加にも好影響を与えており、26年度末で337会員、562口となり、会員数、口数ともに過去最高となった。

2 MICE戦略の推進

観光庁においても、日本のMICE事業の認知向上のために、新たにロゴマークを作成するなど、MICEを取り巻く環境は年々大きくなってきている。

こうした中、平成26年の国際会議開催件数は京都府全体、また京都市単体としても過去最高となり、特に京都市域では初めて200件の大台を超えた。

これはウェブサイトをはじめとする広報ツールの拡充、そして大学関係者への働きかけ等に力を入れてきた成果と考えている。更に平成27年度は京都市補助金の増額に合わせ、MICE開催への助成制度を質、量ともに拡大させるとともに、人的な体制強化を図っていくこととしている。

また、平成26年度は、全国でも民間レベルでは初となる、京都府警察本部と「京都をテロから守る連携協定」を締結した。

3 インバウンド・プロジェクトの推進

一昨年からムスリム（イスラム教徒）対応をスタートさせ、昨年は国の免税制度改正に合わせて、免税店への支援の取組を開始するなど、時宜を得た先進的な対策を行ってきた。

また、現在、どの国からの宿泊が増え、逆に減っているのかといった宿泊動向をリアルタイムで把握することは大変重要であり、京都市内25ホテルの協力を得て、毎月、国籍別の宿泊状況調査を開始した。加えて、中国の最大手検索システム「百度（バイドゥ）」と提携するなど、全国に先駆けた取り組みを行ってきた。

こうした取組と国の積極的な観光施策との相乗効果で、京都への外国人観光客は確実に増加しており、合わせて、より一層の受け入れ環境の充実を図っていかなければならない。

4 京都迎賓館支援の推進

京都迎賓館シンポジウムを、平成26年5月に首都圏で開催し、定員450名のところに、800名近い皆様から応募があった。昨年はNHKの京都迎賓館特番もあり、シンポジウム、一般参観ともに大変好評であった。

今後もこうした取り組みを通じて、より広範な国民に、日本の伝統文化の粋を極めた京都迎賓館の周知を目指していきたい。

5 琳派400年記念祭の推進

京都府、京都市、京都商工会議所と当法人が中心となり、琳派400年記念祭委員会を設立。公式ポスター、ロゴマーク等を制定し、琳派400年記念祭について、積極的に広報展開を行った。

また、同時に昨年9月には琳派ゆかりの皆様とこれからの新しい琳派を創造していく若い大学生との交流会や、11月1日には琳派をテーマとする古典の日フォーラム、そして翌1月には琳派400年記念祭の幕開けを告げる開幕記念フォーラムを開催してきた。

こうした活動と相まって、琳派400年の取組は、各地で展覧会が多数開催され、工芸、食品の分野をはじめ、文化面、産業面へと多岐に渡って、大きな広がりを見せてきている。

部 門 別 概 要

I 文化交流発信事業（公益目的事業）

1 古典の日推進事業

（1）「古典の日」普及・定着のための事業

①古典の日フォーラム2014

日 時：平成26年11月1日(土) 13:30～17:00

場 所：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）

参加者：1,700名

主 催：古典の日推進委員会

共 催：NHK 京都放送局、公益財団法人国立京都国際会館

協 賛：オムロン株式会社、京セラ株式会社、京都銀行、株式会社島津製作所、
株式会社堀場製作所、村田機械株式会社、
株式会社ワコールホールディングス

協 力：羽田登（京都府指定無形文化財保持者）、染匠市川株式会社

内容等：

○「古典の日」宣言／田中翔子（第5回古典の日朗読コンテスト受賞者・京都府
高等学校芸術文化連盟会長賞）

○挨拶／古典の日推進よびかけ人：千玄室（裏千家第15代・前家元、ユネスコ親善大使）
主催者：村田純一（古典の日推進委員会会長）
来 賓：伊吹文明（衆議院議長）
来 賓：青柳正規（文化庁長官）

○連続講演／

「古典と私」千玄室（裏千家第15代・前家元、ユネスコ親善大使）

「山本容子の姫君たち」山本容子（銅版画家）

「古典と現代文化」青柳正規（文化庁長官）

○クラシック演奏／「コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲より第1・3楽章」
玉井菜採（ヴァイオリン）、上森祥平（チェロ）

○琳派400年記念対談「現代に生きる琳派」／

高階秀爾（大原美術館館長、東京大学名誉教授）

芳賀 徹（静岡県立美術館館長、東京大学名誉教授）

聞き手：杉浦圭子（NHK大阪放送局）

②第6回古典の日朗読コンテスト

1) 作品募集

- (1) 課題作品：一般部門・高校生部門
「源氏物語」、「今昔物語」、「古今和歌集」、「風姿花伝」
中学生部門「枕草子」「徒然草」「平家物語」
- (2) 応募総数：388 作品
(一般部門 228 作品、高校生部門 76 作品、中学生部門 84 作品)
- (3) 審査委員：特別顧問／芳賀 徹 審査委員長／菊川徳之助
委員／高橋清之、端田宏三、宮田圭子、三好 仁
- (4) 表彰：フォーラム「古典の世界を読む 2014」にて最終審査及び表彰式

2) フォーラム「古典の世界を読む 2014」

—第6回古典の日朗読コンテスト公開最終審査会と表彰式—

日 時：平成 26 年 11 月 29 日 (土) 13:00~16:00

場 所：金剛能楽堂 (京都市上京区)

参加者：313 名 ※応募総数 295 通 469 名

主 催：古典の日推進委員会

共 催：京都府高等学校芸術文化連盟

後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都新聞、
公益社団法人高等学校文化連盟

特別協賛：村田機械株式会社

特別協力：公益財団法人金剛能楽堂財団

内容等：

- 主催者挨拶／村田純一 (古典の日推進委員会会長)
- 最終審査会出場者の朗読
【部 門】一般部門／10 名、高校生部門／4 名 中学生部門／3 名
- 講演講演 『古典を読むということ』(京都産業大学教授・日本文化研究所所長)
- 審査発表・表彰式
 - 大 賞／古典の日推進委員会会長賞 … 各部門より 1 作品
 - 特別賞／京都府知事賞、京都市長賞、宇治市長賞、京都商工会議所会頭賞
… 全部門より各賞 1 作品
 - 京都府高等学校芸術文化連盟会長賞 … 高校生部門より 1 作品
- 審査講評 (各審査員より)
- 舞囃子 「高砂」金剛龍謹 他

③京あるき in 東京 2015 京都創生連続講座 in 東京「琳派400年記念セミナー」

日 時：平成27年2月20日(金) 17:00~19:00

場 所：野村コンファレンスプラザ日本橋6階 大ホール（東京都中央区日本橋）

参加者：340名

主 催：古典の日推進委員会、琳派400年記念祭委員会、京都創生推進フォーラム、京都市

後 援：京都創生百人委員会

協 力：野村コンファレンスプラザ日本橋（東京都中央区）

内容等：

○趣旨説明「国家戦略としての京都創生」の取組報告

「琳派400年記念祭」の取組報告

○朗読「伊勢物語 ～琳派の愛した王朝文学～」／山根基世（元NHKアナウンサー）

○講演「生きつづける光琳」／玉蟲敏子（武蔵野美術大学教授）

④共催、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数(平成26年3月31日現在)

◆後援：52件

◆共催：2件

◆ロゴ・シンボルマーク：39件

⑤「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

1) ホームページ

今年度のアクセス数は、平成26年3月31日現在、60,342件

2) 媒体広告

(1) 京ごよみ(10月号)

(2) 京都新聞キーワードきょうと(9月1日)

(3) 京都新聞(9月29日、10月4日朝刊)

(4) 京都新聞「一日版」(11月1日(土)朝刊)

3) 特殊切手「古典の日制定」発売(10月31日)

4) 関係機関広報ツール

(1) 府民だより

(2) 京都市民しんぶん

(3) 宇治市政だより

(4) 文化庁関西元気文化圏ホームページ（文化カプロジェクトサイト）

2 琳派 400 年記念事業

平成 27 年に琳派発祥から 400 年目を迎えることを記念し、各界で行う「琳派」に光をあてる文化発信事業等についての連絡調整、広報事業及びオープニング事業を京都府・京都市・京都商工会議所と連携して実施した。

① 「琳派 400 年記念祭委員会」設立記者会見

- ・日 時 平成26年6月2日（月）
- ・会 場 建仁寺 方丈
- ・出席者 村田純一（京都文化交流コンベンションビューロー理事長）
山田啓二（京都府知事）
門川大作（京都市長）
立石義雄（京都商工会議所会頭）
- ・報道関係者 32名



② 「琳派 400 年記念祭 交流会」の開催

- ・日 時 平成26年9月5日（金）
- ・会 場 西陣織会館
- ・参加者 シンポジウム：402名 パーティー：326名

【内容】

○第1部 琳派 400 年記念祭委員会・プラットフォーム
顔合わせ交流会

- 挨拶 村田純一（琳派 400 年記念祭委員会代表）
河野元昭（琳派 400 年記念祭委員会呼びかけ人）
高階秀爾（琳派 400 年記念祭委員会呼びかけ人）
辻 惟雄（琳派 400 年記念祭委員会呼びかけ人）
芳賀 徹（琳派 400 年記念祭委員会呼びかけ人）
佐々木丞平（琳派 400 年記念祭委員会専門委員）

講話 久谷政樹（グラフィックデザイナー）

○第2部 琳派400年記念祭シンポジウム

挨拶 山田啓二（琳派400年記念祭委員、京都府知事）
門川大作（琳派400年記念祭委員、京都市長）
高階秀爾（琳派400年記念祭委員会呼びかけ人）

リレートーク 「私と琳派」

河野元昭（京都美術工芸大学学長、東京大学名誉教授）
細見良行（(公財)細見美術財団 細見美術館館長）
田畑喜八（京友禅伝統工芸士）

コーディネーター 山本 壯太（琳派400年記念祭委員会GP）

○第3部 ティーパーティー

挨拶	村田純一、芳賀徹、上村淳之
乾杯の挨拶	渡邊隆夫
挨拶	羽田登
ポスター・ロゴ説明	久谷政樹、山本剛史
閉会の挨拶	黒田清喜



③ 「琳派400年記念祭 開幕記念フォーラム」の開催

- ・日時 平成27年1月31日
- ・会場 京都劇場
- ・参加者 941名
- ・内容等

○演奏「月映え風立つ」-俵屋宗達の風神雷神をモチーフに-
大谷 祥子（箏曲家 ジャポニスム振興会副会長）
鬼太鼓座（和太鼓）

○挨拶

- ・よびかけ人 芳賀 徹（琳派400年記念祭呼びかけ人
・静岡県立美術館館長）
- ・主催者 村田純一（琳派400年記念祭委員会代表委員）
- ・来賓 千 玄室（裏千家第15代・前家元、ユネスコ親善大使）

- 来 賓 伊吹 文明（衆議院議員）
- 対談 『21 世紀の琳派—時空を超えて』
 - 山下 裕二（明治学院大学教授 美術評論家）
 - 細見 良行（細見美術館館長）
- 半能 『山姥』（20分） 金剛 龍謹（金剛流若宗家）



- ④ 「京都創生連続講座 i n 東京」琳派 400 年記念セミナーの実施
 - 日 時 平成27年2月20日（金）17：00～19：00
 - 会 場 野村コンファレンスプラザ日本橋 大ホール
 - 参加者 340名
 - 主 催 琳派400年記念祭委員会、古典の日推進委員会、
京都創生推進フォーラム、京都市
 - 内容等
 - 京都創生の取組報告
 - 「古典の日」・「琳派 400 年記念祭」取組報告
 - 朗読：「伊勢物語 ～琳派の愛した王朝文学～」
語り：山根 基世（元 NHK アナウンサー）
 - 講演：「生きつづける光琳」
講師：玉蟲 敏子（武蔵野美術大学教授）
- ⑤ 「琳派 400 年記念祭」広報
 - ポスター、各種冊子による広報
 - 大型懸垂幕掲出（9月～ 京都駅前）
 - 横断幕（バナー）設置（10月14日～11月19日 四条通）
 - 新聞全面広告（1月5日 京都新聞）
（2月27日 京都新聞）
 - イベントガイド春号の発行



2 京都迎賓館支援事業

(1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客

計 7 件

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ① カタール前首長妃一行 | 平成 26 年 4 月 23 日 |
| ② イスラエル首相夫妻一行 | 5 月 1 4 日 |
| ③ インド首相一行 | 8 月 30 日 |
| ④ モロッコ王国参議院議長一行 | 9 月 1 1 日～12 日 |
| ⑤ グルジア大統領夫妻一行 | 1 0 月 2 2 日～2 3 日 |
| ⑥ エチオピア連邦民主共和国人民代表議会議長一行 | 1 0 月 2 6 日～2 7 日 |
| ⑦ ポルトガル共和国首相一行 | 平成 27 年 3 月 26 日 |

<過去の接遇件数>

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25
接 遇 件 数	8	11	15	9	10	10	12	5

(2) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館に賓客接遇に際して美術品しつらいデータベースを活用した。

(3) 京都迎賓館参観支援事業

ア 期 間：平成 26 年 8 月 1 日（金）～ 8 月 1 0 日（日）

イ 参観者：10,151 名 ※別途 7 月 31 日に参観リハーサルを実施

ウ 支援事業

(ア) ボランティアの紹介

京都文化振興友の会、京都市文化ボランティア、京都検定協力会から、京都迎賓館一般参観運営スタッフとしてボランティアを募集し、88名を派遣した。

(イ) 生け花のしつらい

場所：正面玄関、聚樂の間、藤の間前 提供：京都いけばな協会

(ウ) リーフレットの提供

京都迎賓館の伝統技能を紹介したリーフレットを14,500部作成・提供

(エ) 宇治茶の提供（有料） 提供：京都府茶協同組合

(4)「京都迎賓館シンポジウム」の開催

ア 開催日：平成26年5月11日（日）

イ 会場：東京・イイノホール（千代田区）

ウ 参加者：450名

エ 概要

◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露（宮川町歌舞会）

◇基調講演

テーマ 「京都迎賓館 ～和風文化のおもてなし～」

講師 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

◇パネルディスカッション

テーマ 「京都にいきるもてなしの技と心」

コーディネーター 中村 昌生氏（京都工芸繊維大学 名誉教授）

パネリスト 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

池坊 由紀氏（華道家元池坊 次期家元）

高橋 英一氏（京料理「瓢亭」第14代当主）



3 京都創生フォーラム事業

(1) 運営委員会・連絡会の開催

①第12回運営委員会

ア 日時：平成26年4月23日（水）午前10時30分～12時

イ 場所：京都商工会議所 役員室

ウ 議事：平成25年度の活動について（報告）

平成26年度の活動について（提案）

各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

②第14回連絡会

日 時：平成26年7月24日（木）午後2時～3時

場 所：京都商工会議所 3F 第2会議室

議 事：7月29日シンポジウムの運営について

(2) シンポジウムの開催

ア 日 時：平成26年7月29日（火）

午後1時30分～4時

イ 会 場：京都観世会館

ウ 参加者：450人 ※申込者966名

エ プログラム



・舞囃子「熊野」 片山九郎右衛門（公益社団法人 京都観世会会長 観世流能楽師）

・挨拶 立石義雄（京都創生推進フォーラム代表・京都商工会議所会頭）

門川大作（京都市長）

・パネルディスカッション

テーマ 「世界の人々を魅了する京都」

パネリスト 彬子女王殿下

アロード・チャールズ（事業家）

片山九郎右衛門（公益社団法人 京都観世会会長 観世流能楽師）

西尾 久美子（京都女子大学 現代社会学部教授）

コーディネーター 宗田 好史（京都府立大学 生命環境学部教授）



(3) 京都創生連続セミナーの開催

①第22回セミナー

ア 日 時：平成26年12月6日（土）

午後2時～4時

イ 会 場：京都商工会議所3階 講堂

ウ 参加者：250人

エ テーマ：「御粽司川端道喜が見た京の歴史」

オ 講 師：川端 知嘉子（御粽司川端道喜第16代代行）



②第23回セミナー

ア 日 時：平成27年1月24日（土）



午後2時～4時

イ 会 場：池坊学園こころホール

ウ 参加者：200名

エ テーマ：「京の庭園 美と技の継承」

オ 講 師：小川 勝章（造園「植治」次期12代）

（4）京都創生PRの実施

① 京都創生 PR ポスター「日本に、京都があってよかった。」

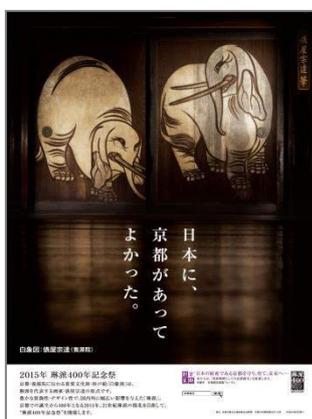
発行時期：第23弾 平成26年8月13日発行

第24弾 平成27年3月26日発行

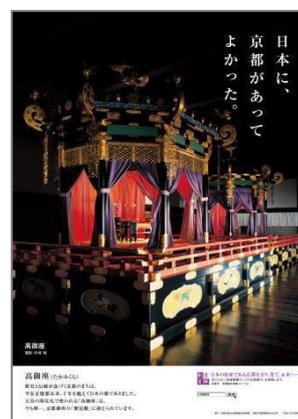
仕 様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判

発行部数：5,000部

配 布 先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内の私鉄駅、市内金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内ホテル、市内の大学構内、首都圏の旅行代理店、京都に修学旅行を予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参画企業店舗など



第23弾（白象図）



第24弾（高御座）

② 広報誌「京都創生」第11号・第12号

発行時期：第11号：平成26年12月19日

第12号：平成27年 3月27日

仕 様：A4版4頁

発行部数：8,500部

配 布 先：京都創生推進フォーラム会員・京都府及び京都市関係機関・運営団体等

(5) 「京都創生連続講座 i n 東京」の実施

ア 日 時：平成27年2月20日（金）

第1部 午後1時30分～3時30分

第2部 午後5時～7時

イ 会 場：野村コンファレンスプラザ日本橋 大ホール

ウ 参加者：第1部300名・第2部340名

エ プログラム

第1部 京町家・東京シンポジウム

「景色の継承ー京町家の再生を通してー」

・京都創生の取組報告 大瀧洋（京都市京都創生推進部長）

【パネリスト】デービット・アトキンソン（(株)小西美術工藝社会長兼社長）

小川 勝章氏（造園「植治」次期12代）

【コーディネーター】小島 富佐江（NPO 法人 京町家再生研究会理事長）

第2部 琳派400年記念セミナー

・京都創生の取組報告 大瀧洋（京都市京都創生推進部長）

・「古典の日」・「琳派400年記念祭」取組報告

山本壮太（古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー）

（前半）朗読：「伊勢物語 ～琳派の愛した王朝文学～」

語り：山根 基世（元 NHK アナウンサー）

（後半）講演：「生きつづける光琳」

講師：玉蟲 敏子（武蔵野美術大学教授）

(6) 京都創生 PR 事業「京あるき in 東京2015～恋する京都ウィーク
ス～」の実施

京都市・京都商工会議所・京都市観光協会とともに、第5回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

①概 要 京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施。

②期 間 平成27年2月4日（水）～3月2日（月）

③事業数 120（前回：112） 参画企業、大学、団体数205（前回：196）

⑤京都創生推進フォーラムの活動内容

「京都創生連続講座 i n 東京」の実施（再掲）

「国家戦略としての京都創生」のPRパネル展示
京都創生パンフレットの配布

(7) 京都創生推進フォーラムホームページによる情報発信

シンポジウム等の情報を伝えるとともに、今後の開催案内等の活動情報も随時掲載。
また、各会員の活動情報を紹介するほか、新規会員の募集・登録も行っている。
その他、広報誌やポスターなどの広報物を紹介。

※ 平成26年度年間ホームページアクセス件数 38,686件 月別HPアクセス件数

(8) 京都創生フォーラム会員管理

会員数	企業・団体	個人	合計
期首	426	337	763
減少	5	5	10
増加	7	52	59
期末	428	384	812

入会は、ホームページやフォーラムへの参加を通じて行う。退会は、本人逝去や事務所閉鎖等による。

(9) 「京都創生」の大学生への働きかけ（新規）

「京都創生」の取組について、若い世代への周知を図るため、大学等と連携した取組を実施

① 京都橋大学1年生必修科目

- ・日時
 - ・平成26年4月14日（月）
午前9時～10時30分、
午前10時45分～12時15分
 - ・平成26年4月21日（月）
午前9時～10時30分、
午前10時45分～12時15分
- ・場所 京都橋大学
- ・対象 「一般教養科目」受講生 800人
- ・内容
 - ・京都創生の取組について
 - ・京都市大学政策について

② 京都橘大学現代ビジネス学部

- ・日 時 平成26年6月15日(日) 午後2時～4時
- ・場 所 上七軒歌舞練場
- ・対 象 「文化プロデュース入門Ⅰ」受講生 60人
- ・内 容
 - ・上七軒通・無電柱化の取組見学
 - ・上七軒歌舞練場見学
 - ・太田達氏(老松主人)による講演

③ キャンパスプラザ京都単位互換科目「京都の歴史・文化と観光」

- ・日 時 平成26年8月7日(木) 午後2時30分～4時
- ・場 所 キャンパスプラザ京都
- ・対 象 250人
- ・内 容 京都創生の取組について

Ⅱ 国際観光コンベンション事業(公益目的事業)

1 コンベンション(MICE)事業

平成26年度の京都の国際会議開催実績は、京都市域で203件、それ以外の京都府域で10件を記録し(重複1件があるため合計212件)、過去最高となった。

また26年度には、東アジア地域経済包括連携会合(「RCEP」2015年、800人参加見込)、アジア泌尿器学会(2018年、1500人参加見込)、統計教育国際会議(2018年、600人参加見込)、液晶国際会議(2018年、800人参加見込)等の大型国際会議の京都開催が決定した。

誘致・会議支援体制を強化するため26年度中に3名の職員補強を行っている。

(1) プロモーション事業

① 海外プロモーション活動

[IMEX in Frankfurt 2014 出展]

JNTO 他 19 団体と共同で IMEX in Frankfurt 2014 に出展。

開催期間：平成26年5月20日～22日

開催場所：ドイツ・フランクフルト

規 模：出展者数 3,500 以上(団体・企業)

ホステッド・バイヤー(招待客) 3,654 名

その他の来場者数 4,900 名以上

② 国内プロモーション活動

[VISIT JAPAN MICE マート 2014 出展]

26年度から「VISIT JAPAN」の会場内で併催された MICE 商談会に出展。海外のエージェントに対し、プロモーションを行った。

開催期間：平成26年9月24日～26日

開催場所：東京ビッグサイト

規 模：海外バイヤー347社（28カ国）、国内セラー400団体

[IME2014出展]

「第24回国際ミーティング・エキスポ IME2014」に出展。従来、参加団体を固定していたのを見直し、今回は賛助会員から公募の結果、下記のとおり多様な業種による出展体制により、東京圏の会議主催者等に対して Team Kyoto による一体的なプロモーションを展開した。

開催期間：平成26年12月9日～10日

開催場所：東京国際フォーラム

規 模：来場者数 2,050名 出展関係者 1,402名（131団体・企業）

京都ブース構成団体

京都文化交流コンベンションビューロー、

国立京都国際会館、京都テルサ

みやこめっせ、京都リサーチパーク、京都水族館、

東映太秦映画村、Kiyomizu 京都東山、MK タクシー、

彌榮自動車、ワックジャパン、二条城



(2) 開催支援事業

① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力

[第11回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)]

平成26年10月に開催された「第11回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)」について、京都府・京都市・京都商工会議所と共同で同フォーラム支援実行委員会を組織し、開催支援を行った。

公開シンポジウム 平成26年10月4日 京都商工会議所講堂

歓迎レセプション 平成26年10月6日 建仁寺

京都エクスカーション 平成26年10月6～7日 2コース計 33名参加

② 京都スマートシティエキスポ2015への運営協力

平成27年5月に京都国際会館及びけいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)で開催された京都スマートシティエキスポ2015の開催に際して、準備

委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府担当課と連携を行い、また、レセプションにおける芸舞妓の舞踊等に関する助成金支出等の開催後方支援を行った。

③ オフサイト・レセプション等の企画・提案

開催地ならではのユニークな施設・会場(オフサイト・レセプション)の企画・提案を積極的に行った。またインバウンド課の事業と連携し、共同でユニークベニュー開発に取り組むことによって新たな施設との連携が強化された。

[オフサイト・レセプション会場(主な事例)]

- ・社寺(大覚寺、建仁寺、高台寺、東福寺、平安神宮、等)
- ・東映太秦映画村 ・ハウスウェディング施設 ・料亭
- ・京都国立博物館 ・京都水族館 ・二条城

(3) 各種会議支援サービス制度の運用状況等

① 助成金

(ア) 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

[申請案件(平成26年度申請(認定)分)]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
米国電気電子学会放射線科学ソサエティ及び医療イメージング会議 IEEE NSS-MIC2018	2,200人	平成30年度	300
世界博物館大会 ICOM 2019	2,500人	平成31年度	300
アジア泌尿器科学会 2018	1,500人	平成30年度	200
国際視能矯正会議 2020	2,000人	平成32年度	200

(イ) 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

[申請案件(平成26年度申請・交付分)]

会議名	参加者	開催予定年度	交付額
該当なし			

(ウ) 京都市 MICE 開催支援事業「文化プログラム派遣制度」の活用

利用件数：28件 (うち伝統産業6件) 支援金額：6,679,915円

② その他の支援サービス(カッコ内は25年度実績)

(ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数 : 2件(1件) 発行金額: 2,868,000円(3,135,000円)

(イ) 京都コンベンション・フォトバンクの活用

利用件数 : 28件(36件)

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数 : 7件(1件)

(ハ) 京都コンベンション・ウェブ・データ貸出制度

利用件数 : 2件(2件)

(ニ) 誘致プレゼンテーション用パワーポイント・データ貸出制度

利用件数 : 9件(12件)

(ホ) 京都開催 PR用バナー貸出制度

利用件数 : 4件(6件)

(ヘ) 京都 MICE プロモーション映像の貸出・提供

誘致DVD利用件数: 14件(19件)

新PR映像(平成26年10月から貸出)利用件数: 7件

(コ) 会議開催準備資金の無利息融資

融資件数 : 0件(0件)

(ク) 各種広報印刷物等の提供

利用件数 : 135件(141件)

京都観光案内地図(日英併記) 提供部数: 39,970部(39,092部)

おこしやす京の旅路(和文が1冊) 提供部数: 16,825部(16,340部)

Kyoto Tourist Guide(英文が1冊) 提供部数: 15,715部(16,490部)

京都案内リーフレット(英文75冊) 提供部数: 4,820部(5,720部)

京都案内小冊子(和文) 提供部数: 2,520部(1,205部)

その他

Kyoto Visitor's Guide

京都コンベンション施設ガイド(日本語版)

Kyoto Meeting Planning Guide(英語版)

京都PR用ピンバッジ・絵はがき・ポスター等

(4) 広報宣伝事業

① ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信

国内外の MICE 主催者・参加者に対し、MICE 開催都市「京都」の情報発信を行うため、ホームページのリニューアルを行い、世界中の国際会議や国際学会の主催者や事業者、加えて京都市内の大学関係者の皆様の利便性向上を図った。



② 海外 PR エージェンシーを活用した情報発信

海外 MICE 業界専門 PR エージェンシーを活用し、世界の MICE 専門誌及び WEB に京都の記事掲載を働きかけ、京都の魅力を世界の MICE 主催者に発信した。

掲載実績 : 82件

③ 京都 MICE ロゴの制作

グローバル MICE 戦略都市のコンサルティングも受けながら、京都 MICE のブランド・アイデンティティを確立し、国内外に PR していくため、ロゴを制作した。



④ 京都コンベンション施設ガイドのリニューアル

会議場、ホテル、ユニークベニュー、支援施策等、会議主催者が必要な情報をわかりやすく提供できるよう内容を一新した。

(5) MICE 関連情報の調査・収集・検討

① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンGRESS・コンベンション・ビューローをはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。また本年度、ICCA (International Congress and Convention Association 国際会議協

会)への入会が承認され、第53回総会(於:トルコ・アンタルヤ、11月、参加者約900名)に職員を派遣し、国際的なMICEプレーヤーとのネットワーク強化と情報収集を図った。

② 「グローバルMICE戦略都市」コンサルティングの受入

昨年度からの継続事業。京都市・KCB協業で選考資料を提出した結果、京都市含むMICE誘致の潜在能力の高い5都市を観光庁が戦略都市に選定したもの。観光庁は戦略都市に対して国際的MICEコンサルタントを派遣。今年度は、2次にわたる実地トレーニング(東京・京都)、及び国際電話による数次のコンサルティングを通じて、コンベンションビューローの戦略、国内外の商談会への出展等について指導を受けた。

特に、当ビューローが戦略的誘致案件としている世界博物館大会(2019年)については、誘致戦略、競合国の分析、視察対応等、全般にわたって、きめ細かい指導を受けた。

③ 統計調査・発行

国際会議統計「2013京都で開催された国際会議」発行

2 国際観光プロモーション事業

(1) 重点市場に於けるインバウンドマーケティング事業

重点市場拠点管理運営事業

アメリカ・台湾・韓国・中国・オーストラリア・フランス・イギリス・ドイツの8市場に加え、新たに香港・ドバイに拠点レップ窓口を設置し下記のマーケティング活動を年間通じて実施。

- ・ 現地旅行会社・メディアに対する京都観光PRなどの情報発信
- ・ 現地の旅行動向・関心・方向性等を探る情報収集
- ・ 現地セールスコール時のサポート等
- ・ 月次及び年次報告書の提出、現地市場に関する説明会等への参加
- ・ SNS発信、メディア招請にあたってのサポート等

市場説明会 平成26年5月27日開催(於:京都ロイヤルホテルアンドスパ) 参加申込74社



(2) 特定市場/ターゲットに対するインバウンドマーケティング事業

① 海外富裕層市場への取組事業

ILTM Japan、ILTM Cannes 等の富裕層旅行商談会との事業協力やタイアップを行い、当該市場に於ける京都の認知拡大及び、京都の事業者の市場参入プラットフォームの整備を促進。また、海外メディアへの取材誘致活動（後述）に関しても富裕層の受容性の高いメディアを中心にアプローチを行った。

- ・ILTM Cannes 2014年12月1日～4日
- ・ILTM Japan 京都（2015年3月16日～18日）開催への協力

ILTM（インターナショナル・ラグジュアリー・トラベル・マーケット）とは：

フランス・カンヌで2002年から毎年12月に開催されるラグジュアリー層を顧客とする旅行会社（バイヤー）と高級ホテル、観光施設等（出展者）の商談会。厳格な審査により選ばれた参加者のみが参加でき、ラグジュアリー層を対象としたイベントとしては最も影響力が強いとされる。

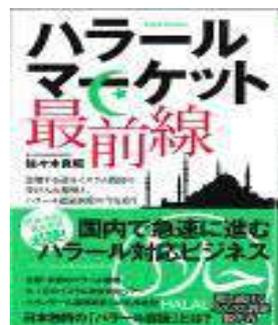
2007年以降、アジア版のILTM Asiaが上海で開催されており、更に、2012年からはILTM Americas、2013年からはILTM Japan、ILTM Africaが開催されている。主催は、Reed Travel Exhibitions社（本社：ロンドン）。

② 新規市場への取組

未だ日本では取組が浅く、今後訪日市場拡大可能性の見込まれる市場である東南アジア・中東などのムスリム（イスラーム教徒）市場等について、新たに設置したドバイ拠点やJNTO等との連携の上PRを行うとともに、京都域内の当該市場に対して積極的な民間事業者の取組を支援した。また、ホームページ等を通じたムスリム市場向けの情報発信を継続し実施。ドバイ拠点との連携も功を奏し、UAEからの宿泊客数は大幅に増加した（26年4月～12月のホテル統計の部屋数：対前年比237%）。

- ・ムスリム観光客向けウェブサイトのコンテンツ増強（9事業者→14事業者）
- ・市内事業者の個別相談対応
- ・アラビアントラベルマーケットへの出展（2014年5月5日～8日）

※日本からは京都のみの参加。現地メディアはもとより、日本のメディアでもテレビ（全国ネット）をはじめとして大々的に取り上げられた。



京都の先進的なムスリム市場への取組は、業界誌などのメディアをはじめ、ビジネス書においても紹介されている。

③ 新規 京都市域内統計収集・分析強化

当ビューローが主体となって京都市域のステークホルダーの協力を得て営業状況や稼働状況等に関して定期的に統計調査を行った。（市内25ホテルの協力による毎月・国籍別の宿泊状況調査）

行政や他業界団体からの調査データと比較分析を行いながら、常に的確な市況や各種事業効果に関する把握強化に努めた。また調査データは当ビューローのホームページで公開し、賛助会員企業・団体との情報共有を行った。

④ 新規 マーケティング強化（ホテル誘致関連）

宿泊キャパシティ拡大の課題に取り組む糸口として、世界のホテル投資家が一堂に会する国際会議（HICAP）等に参加。また、国内外のホテルオペレーターやディベロッパーとも継続的にヒアリングや意見交換を実施。

（3） プロモーション・情報発信事業

① ウェブサイトの抜本的なリニューアル事業

従来の海外観光客向けウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」は8言語（英、ハングル、繁体字、簡体字、仏、独、西、伊）対応であるが、平成26年度に抜本的に再構築した。



・世界最大の口コミサイトのトリップアドバイザーと連携

トリップアドバイザー®とは

トリップアドバイザー®（本社：アメリカ）は、45か国で展開する世界最大の旅行口コミサイトで、月間のユーザー数は3億1千万人を超える。

宿泊施設や観光施設等の口コミに加え、トリップアドバイザー社集計による独自のランキング等も発表。宿泊施設に関しては複数のインターネット予約サイトの価格比較が併せて出来る等、ユーザー視点に基づく機能を提供し世界中から幅広く支持を集める。

- ・事業者との連携により、宿泊施設や体験の予約まで可能な仕組みづくり
- ・スマートフォンやタブレット等にも対応するマルチデバイス画面
- ・対応言語数増（8言語→13言語）

※2014年4月～2015年3月のPVは合計466万(2013年度400万PV)

② Facebook ページの運用事業

ソーシャルネットワークの最大手である Facebook に於いて「Visit Kyoto」ページを継続展開。27年3月にファン数30万人を突破し、内外でも圧倒的な情報発信力を有するページとなったが、更なるファン数拡大へ向け引き続きタイムリーな情報発信に努める。

③ 海外メディア取材誘致・露出強化事業

海外に於ける有カメディア（雑誌、テレビ、ウェブサイト）の取材誘致活動を強化し、更なる京都の露出拡大を目指す。また、観光庁や近畿運輸局、他都市や航空会社などとの積極的な連携により事業精度及び費用対効果の向上を図っていく。併せて京都のもつ映像コンテンツの供給についても京都市メディア支援センターと共に実現性を探る。

<メディア> 支援媒体数 50件75媒体

総広告換算額（概算） 815,135,000円

（25年度69媒体 336,700,000円）

④ 海外旅行商談会出展・海外セールスコール事業

海外で開催される旅行商談会に出展を行い、デスクティネーションのPRを行うと同時に賛助会員の商機拡大のプラットフォームを提供。加えて、特定都市へのセールスコール（訪問営業）活動を実施。

・UAE アラビアントラベルマーケット 2014年5月5日～8日（2社参加）

・フランス JAPAN EXPO 2014年7月2日～6日（京都市コンテンツ事業、映画「舞妓はレディ」プロモーションと連携）

・国内（東京）Visit Japan トラベルマート（Tourism Expo Japan と併催）2014年9月24～26日（5社参加）

・ドイツ ITB 2015年3月4日～8日（5社参加予定）



⑤ その他

- ・USJ 連携事業として、香港 Wing On トラベル社と共同で京都宿泊PR（7・

8月で134部屋販売)

- ・ニュースレター 拠点等に会員等のPR向けコンテンツを配信(月1回)

(4) 外国人旅行客受入体制構築支援事業

① 外国人観光客向け24時間多言語コールセンターの拡充事業

外国人観光客の満足度向上と、受入施設(旅館等)のセーフティネットの構築及び受入環境整備を目的に24時間年中無休の多言語コールセンターを運営(奈良市・大津市も継続)。2014年8月から京都府も参加。

京都市内件数:通訳356件 翻訳16件

主な内容:

<宿泊施設>チェックインやチェックアウト、設備(お風呂・インターネット)・食事関連、宿泊施設内での忘れ物やクレジットカード決済について
<交通機関>バスや電車での経路案内や忘れ物について

② コンテンツ研究会開催事業

京都における旅行商品化の可能性を有するクオリティの高いコンテンツ(伝統産品や工芸品事業者など)の受容性を検証するために、当該事業者と観光事業者のネットワーキングの場を設け、意見交換会等を図った。(2014年4月~2015年1月で6回実施)これまでの内容を冊子としてまとめる。



③ 免税対応支援事業

平成26年10月に予定されている訪日外国人向け消費税免税制度の改正(観光庁)に対応して、京都域内事業者の免税店化を支援。(平成25年度からの継続事業)

- ・2014年4月1日現在178店(大阪国税局調べ)
→2015年3月31日現在444店(KCVB把握数)
- ・京都市内事業者向け説明会(6月19日) 参加179名
- ・商店街等での個別説明会(随時) 12回合計約380名
- ・免税店相談窓口の開設(6月20日~) 1月8日現在338件
- ・事業者向けメールマガジン配信(6月24日~) 1月8日時点で20回
- ・京都市免税店支援ホームページ開設(8月13日~)
- ・市内免税店向け多言語コールセンター開設(10月1日~)
- ・免税販売用資材作成(9月末~)
- ・オリジナル免税店ステッカー作成(右図他数種)

- ・4か国語対応指さし会話ツール作成
- ・KYOTO OFFICIAL TRAVEL GUIDE 上での免税店情報掲載
- ・事業者毎のトレーニング 1月8日時点で19店舗実施
- ・新たに免税店となった店舗対象のアンケート実施
- ・TRAVELJAPAN Wi-Fi アプリ上での免税店情報プッシュ通知



新免税制度導入わずか1か月後に実施した新規免税店へのアンケートでは、約20%近い店舗が売上増加と回答。

④ **新規**訪日客向け全国無料 Wi-Fi アプリ支援（ワイヤードワイヤレス社×KDDI 系列）との提携）

ワイヤードワイヤレス社が進める訪日客向け全国無料 Wi-Fi アプリ「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」の普及支援を開始。店舗・施設情報等のプッシュ通知も行う。京都市で整備している KYOTO Wi-Fi との相乗効果も見込む。さらには、アプリ利用者のログを活用したビッグデータ解析により、訪日客の動向などの示唆を得る方向。

(5) その他

① プロモーションツール等作成事業

- ・京都の紹介パンフレット
- ・トリップアドバイザーとの連携で作成した「京都のトリセツ」パンフレット

② **新規**京もの販売店外国人販売力アップ事業

京都市内の京ものを扱う販売店に対してアンケートを実施し、そのニーズに応じて販売支援ツール等を提供。また、希望店舗についてウェブに情報を掲載。

- ・KYOTO OFFICIAL TRAVELGUIDE 上での店舗情報発信（希望店舗のみ）
- ・京もの74品目の多言語表記カード作成
- ・京もの販売店向け指さし会話ツール作成

Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

1 ホームページの運用

ホームページに「What's NEW」のコーナーを設け、当ビューローからの最新情報や関連行事等のタイムリーな情報の提供に努めた。

2 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信“響都”」発行

- ア 仕様：A4版、4頁（オールカラー）
- イ 作成部数：800部
- ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）
- エ 配付先：賛助会員・関係団体 ほか

3 関係団体との連携等

（1）「京都花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

①嵐山花灯路

平成26年12月12日（金）～21日（日）

来場者数：92万2千人（今回10回目の開催）

②東山花灯路

平成27年3月6日（金）～15日（日）

来場者数：112万8千人（今回13回目の開催）

③京の七夕

平成26年8月2日（土）～11日（月）（今回5回目の開催）

来場者数：65万1千人

（2）時代祭におけるメッセージ発信

「平安建都1300年に向けて」というメッセージを書いた横断幕を持つ行列の先頭役を担った。行進者は賛助会員から募集し、その協力を得た。

IV 共益・収益事業

1 賛助会員制度の運営

(1) 新規勧誘の促進

当ビューローの設立趣旨及び事業等に対する理解者・支援者の拡大を図るため、新たな賛助会員の加入促進に努めた。

ア. 新規加入会員（52 社 61 口）

会 員 名
(株)アクシュ
ホテルビスタプレミオ
ホテル・京都・ベース（アイカム株式会社）
植彌 加藤造園株式会社
(株)ディアライブ
(株)エクサアール
(有)イベロ・ジャパン
姉小路別邸（株）リーフ・パブリケーションズ
ホテルグランバツハ京都（株）グランバツハ京都
Kiyomizu WEDDING&RESTAURANT((株)スタイルズ)
正賀サムライ剣舞
合同会社スガイラボ
株式会社静家
ザ・リッツ・カールトン京都
市
夢館
(株)スタンディング・オン
(株)ワックス・カンパニー
(株)みたて（Wa Experience KAFU）
株式会社宮帯
(株)クッキングサン
野宮神社（宗教法人 野々宮社）
(株)高島屋京都店
(株)太洋堂
株式会社MeetUs(ミータス)

株式会社太鼓センター
株式会社シーズ
Cerca Travel株式会社
(株)デリバリーサービス
京都雲楽窯
(株)ワイヤ・アンド・ワイヤレス
嵐山通船株式会社
(株)George P.Johnson
京都カルチャーネットワーク
協同組合 全日本通訳案内士連盟 (JFG)
辰馬本家酒造株式会社 おづ
松竹株式会社 南座
広友リース(株)
(株)セブン銀行
(株)地域ブランディング研究所
(公財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス
がんこフードサービス(株)
(株)ブリックス
(株)アイ・エス・シーいなり
京都コネクト(株)
ROKUSISUI KYOTO OKAZAKI
(株)寺子屋
(株)京大和
(株)公長齋小菅
寝屋川バス(株)
(株)京都プラザホテル
(株)平八茶屋

イ. 退会会員 (13社 14口)

会 員 名
(株)エーピーホテルオークス京都四条
(株)土屋念珠店
TSP太陽 株式会社
(株)本家尾張屋

京都府農業協同組合中央会
(株)エイコム
(株)井澤屋
西日本旅客鉄道(株) (重複の解消)
(株)善田昌運堂
岡本(株)
ホテルハーヴェスト京都
京都国際ホテル (藤田観光マネジメント(株))
(株)カキモト

＜賛助会員数の推移＞

年度別	会員数	口数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517
平成26年度末	337	562

(2) 会員に対する情報提供やサービス事業の実施

文化交流発信及びMICE・インバウンド推進に関連する、有効な情報の提供・斡旋・紹介等、また、共同プロモーション事業の実施、各種コンサルティング等会員企業へのサービス事業を実施した。

(3) 「会員の集い」の開催

京都のMICE・インバウンド関連業界の連携を図り、産学公オール京都の力を結集して、MICE及びインバウンドの誘致・誘客・振興の取組がより円滑に実施できるよう、情報交換と会員相互のネットワーク強化を図るため「会員の集い」を開催した。

ア 日 時：平成27年2月16日(月) 午後6時～午後8時

イ 場 所：京都ブライトンホテル 1階「慶祥雲の間」

ウ 参加者：賛助会員 約330名(過去最高)

2 「京都文化振興友の会」の運営

京都文化振興友の会会員に対して、京都府・京都市・京都商工会議所及び関係団

体が主催する催事等に係る情報を提供した。

会員数：129名（平成27年3月末）

3 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館参観実施等に併せ、参観記念品を販売した。

参観実施時

ア 時 期：平成26年7月31日～8月10日

イ 記 念 品：販売客数：3,147名 売上点数：7,143点

①クリアファイル ②一筆箋（縦書・横書）

③写真はがき ④あぶらとり紙

⑤メモ帳 ⑥京都迎賓館伝統技能DVD

⑦ねじり竹箸 ⑧懐紙

⑨がま口 ⑩ブックカバー

⑪コースター

ウ 販 売 高：5,012,280円

エ 委 託 販 売：「京都迎賓館の冊子」 375冊

V 管 理 運 営

1 理事会の開催

(1) 第7回理事会

ア 日 時 平成26年6月5日(木)午前10時～11時

イ 会 場 京都商工会議所 役員室

ウ 出席者 理事11名、監事2名

エ 議 事 第1号議案：平成25年度事業報告に関する件

第2号議案：平成25年度決算に関する件

第3号議案：平成26年度収支予算の補正に関する件

第4号議案：評議員会の開催に関する件

(2) 第8回理事会

ア 日 時 平成27年3月10日(火)午前10時～11時
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 理事11名 監事2名
エ 議 事 第1号議案：平成27年度事業計画に関する件
第2号議案：平成27年度収支予算に関する件
第3号議案：平成26年度収支予算の補正に関する件
第4号議案：「経理規程細則別表」の一部改正に関する件
第5号議案：評議員会の開催に関する件



第8回理事会

2 評議員会の開催

(1) 第7回評議員会

ア 日 時 平成26年6月24日(火) 午前10時～11時
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 評議員6名 専務理事1名 監事2名
エ 議 事 第1号議案：平成25年度事業報告に関する件
第2号議案：平成25年度決算に関する件
第3号議案：平成26年度収支予算の補正に関する件

(2) 第8回評議員会

ア 日 時 平成27年3月26日(木)午前9時55分～11時05分
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 評議員8名 専務理事1名 監事1名
エ 議 事 第1号議案：平成27年度事業計画に関する件
第2号議案：平成27年度収支予算に関する件
第3号議案：平成26年度収支予算の補正に関する件



第8回評議員会

3 書面審議（理事会等を開催しないで審議したもの）

（1）理事会

- ① 議案「評議員会の開催（書面議決）に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。（平成26年8月7日）

（2）評議員会

- ① 議案「評議員の選任に関する件」及び「監事の選任に関する件」を審議するに際し、書面審査により評議員全員の同意を得て、議案を承認いただいた。（平成26年8月20日）

平成26年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成27年6月 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー